

平成 22 年 4 月 15 日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2010
課題番号：19520579
研究課題名（和文） 貴族院多額納税者議員の研究

研究課題名（英文）

A Study of Members of the House of Peers Selected from among Large Taxpayers

研究代表者

小林 和幸（KOBAYASHI KAZUYUKI）

青山学院大学・文学部・教授

研究者番号：000211904

研究代表者の専門分野：日本近代史

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：日本史、近代史、政治学、帝国議会、貴族院

1. 研究計画の概要

本研究は、帝国議会・貴族院について、特に貴族院多額納税者議員の総合的研究を行うものである。具体的には、貴族院多額納税者議員の政治活動を明らかにし、その政治的な役割について検討し、従来の研究を実証的に再検討し、多額納税者議員を再評価する。

この目的を達成するため、本研究では、地方所在の多額納税者議員の史料調査を基本とする。この史料調査を通じて、多額納税者議員の互選の実態、すなわち、

（1）多額納税者議員の互選における「調整」の詳細や地域社会との関係、

（2）多額納税者議員の地域代表としての役割や産業振興との関連、

（3）衆議院議員との関係や中央政界に於ける位置、その政治党派所属状況及び貴族院内有爵議員との関係など、

以上の3点について究明する。

2. 研究の進捗状況

地方所在の多額納税者議員の関係史料について、広島県（八田徳三郎、橋本吉兵衛関係史料、澤原為綱・俊雄関係史料）、岐阜県（松原芳太郎関係史料）、香川県（鎌田勝太郎関係史料）において多額納税者議員の日記や書翰といった史料収集を行う共に、山形県、青森県などに出張して、関係史料を調査した。これにより、多額納税者議員の互選過程の実態解明に関する有意義な史料、多額納税者議員と政党政治家・官僚などとの政治的連携関係を考察するための史料などを得ることができた。さらに、国立国会図書館憲政資料室において、多額納税者議員関係史料の調査、同法令議会資料室において帝国議会の請願関係

史料の調査を行った。これらの史料収集を進めて得た知見の一端は、日本政治学会において研究報告の形で発表した。また、直接多額納税者議員を取り扱った論文ではないが、日本近代官僚制全体に関する論文も発表した。

また、貴族院子爵議員であった谷干城の関係史料について子孫の谷家から史料を借用して史料整理目録作成を行い、貴族院議員の政治思想や活動、多額納税者議員と有爵議員との政治的な連携などについての分析のための史料を得、目録は、「谷干城関係文書目録並びに解題」として刊行し、国立国会図書館で史料閲覧できるように手続きを進めた（谷家の了承のもと寄託されることになった）。また、目録完成に併せてシンポジウムを行い、史料分析の成果及び貴族院議員としての谷干城の政治思想と活動について報告した。

さらに、平成21年度より香川県において「鎌田勝太郎関係文書」の整理に着手することになり、これも多額納税者議員の政治活動や貴族院改革問題に関する有意義な史料の発見が期待される。

3. 現在までの達成度

区分 おおむね順当に進展している。

研究計画に基づく研究の予定を順調に進めており、史料収集も進んでいる。また、未整理史料の整理に着手することが出来るなど、予期以上の史料収集が可能となった。但し、未整理史料の整理は目録の作成まで進める必要があり、そのためには、今後ある程度長期の時間を掛けることが必要である。

4. 今後の研究の推進方策

収集史料の解読、分析を進め、研究目的に即して問題の解明に取り組む。また、「鎌田勝太郎関係文書」の整理は精力的に進めるが、さらに本研究課題の研究期間をこえても、時間を掛けて目録の作成まで検討していきたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

小林和幸「谷家所蔵「谷干城関係文書」目録並びに解題」、『青山史学』、査読無し、第27号、平成21年、pp75~150

〔学会発表〕(計3件)

小林和幸「一研究者から見た日本近代史史料の収集と整理について 史料目録の新しいかたちを考える」、於：政治史料連絡会議(国立国会図書館)、平成21年9月3日

小林和幸「谷干城と近代日本 「谷干城関係文書」を通じて」、於：谷元臣氏所蔵「谷干城関係文書」小展示会・シンポジウム(青山学院大学)、平成21年4月18日

小林和幸「貴族院創設の理念と明治期の貴族院」、於：日本政治学会(明治学院大学)、平成19年10月6日